

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



158号

2014年5月2日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 中央図書館はやはり常盤台に？ —迫る建て替えの問題—

中央図書館が、老朽化とバリアフリーが問題で建て替えが迫られています。

今は常盤台公園の一角にあります。今でも敷地面積が公園緑地の3%という制限を超えており、いわば法律違反で建っているわけです。

しかも閉架の図書が多く、エレベーターもなく、蔵書数全体も貧弱で大変使いづらいのです。

元の緑地に戻してほしいという意見もありますが、大多数の常盤台住民にとっては、地元図書館があるのは有難く、ここに住み続ける魅力の一つになっていると思います。たとえ中央図書館でなくても、分館のひとつとして残してほしいという人が多いのではないのでしょうか。

高島平に誘致したいという意見があるようですが、どう考えても不便です。

私たちは数年前、自転車駐輪場を何とかしてほしいと区に交渉した際、駅前の駐輪場を買い上げて、駐輪場を含めた図書館にしてほしいと提案してきました。メリットは幾つもあります。

- 1、今の図書館より面積が増え、地下も増設すればかなりの規模にできること
- 2、マンション紛争が避けられること
- 3、現在の図書館を閉鎖せずに、近くで蔵書や機能設備を移行できること
- 4、常盤台駅に至近、バス路線もあり、板橋区のほぼ真ん中で、他の地域の住民にも便利であること

などなど・・・

いずれ署名運動もしていきたいと企画していますので、ぜひご協力ください。皆で取り組んでいけると良いと思っています。

○ 常盤台の歴史写真展

常盤台に資料館のようなものができるまで、常盤台の景観を守る会では、年に一度、資料展を開催することにしました。

この街が作られた歴史を振り返ることで、街の良さを認識し、これからの街を考えるよすがとしてほしいからです。

今回は「常盤台の歴史写真展」として分譲当時からの歴史を振り返る写真を展示したいと思います。

時 5月8日(木)～13日(火)
所 「ギャラリー服部」 10時～17時
入場無料 (最終日16時)

特に、最近常盤台の住民となられた人にはぜひ見に来ていただきたい展示です。

○ 水島信氏の講演会

上記の写真展会期中にドイツで活躍している建築家水島信さんの講演を催します。

常盤台での講演は3度目になりますが、今回は景観計画を大胆に提案される予定です。

5月11日(日) 15時～17時
於 「ギャラリー服部」 無料

どうぞ気楽にお出でください。

○ 景観形成重点地区指定で 区がパブコメ募集

「最高限度高度地区と最小敷地面積」とは別に、板橋区は加賀地区と常盤台一・二丁目地区を景観形成重点地区に指定しようとしています。それについてのパブコメ募集のお知らせが先日配布されました。詳細は区報かホームページにあるそうです。

常盤台にネコがいなくなつた！

—おかげでネズミが急繁殖—

常盤台一丁目に引越して約四十年、いつも身近に猫がいました。でもこの頃、猫の恋の季節なのに、声も聞こえず姿も見えませんでした。

一五年前、物置で野良猫が四匹子供を産み捨てました。そこで「捨て猫防止協会」から猫捕獲機を借りてN動物病院で手術をお願いしました。確か当時、板橋区よりオス三千円、メス五千円の補助が出ましたがメス三匹、オス一匹だったので、経済的にも大変でした。その生き残りだった我家の半野良のミミはいつの間にか姿を消し、恐らく老衰で死んだと思われれます。

また、お豆腐やさんのご夫婦とも病を得て商売をやめられましたが、いつもお店にいた数匹の猫も、このところ見かけません。

郵便局のリタイアされた方も、倒れられてからリハビリ中とかで、沢山いた猫も居なくなりました。

飼う側、飼われる側の様々な理由で、常盤台の猫の姿は激減しているようです。

すると喜んで活躍し始めるのはネズミです。何人もの人から、庭や屋内でのネズミの出没の話を聞きました。

野良猫の姿もめっきり減っていますが、外猫も大事な生態系なのだと思います。解決策は？ 良い案を教えてくださいませんか？

じゃないとネズミがこの美しい常盤台を席卷しちゃうー！！

E・O

「武蔵野プレイス」見学

中央線武蔵境駅南口にある武蔵野市の複合機能組織。「図書館」「生涯学習支援」「市民学習支援」「青少年活動支援」などの機能を果たしていますが、開架式の図書館が主となっています。

四月十日（木）一時半から、生活者ネットの人たちと八人で、副館長さんの案内で館内を巡り歩きました。

高校生のグループが卓球台を囲んで楽しそうに遊んでいました。地下のその階は、大人の立ち入りは禁止。学校以外で青少年の安心できる居場所が無いという悩みに応えたもの。向こうの方では女の子たちがクライミング練習用の壁に取り付いていましたし、防音室の中ではギターを弾いて歌っている少年もいました。

特に感心したのは、地域の市民運動の団体のためのコーナーがあり、三百余りの団体の活動ファイルがあり、専用ロッカーや会議室などが用意されていたことです。税金を払い、職員を雇い、自分たちの充実した暮らしを決定しているのは住民自身です。武蔵野市の住民の意識が昔から高く、行政もその活動を支援し、どうしたら市民の希望に添えるか、と努力している姿勢が素晴らしいと思いました。

図書館としての充実度はかなりのもので、一日当たりの利用者数が5千人とのこと。板橋区の人口から考えても、このような図書館は望まれているはず。常盤台にある中央図書館をどういう姿にするか、いろいろ参考になりました。

常盤台公園のはなづくり

今年のチューリップはもう散ってしまいました。例年より少し花色が地味だったような気がします。来年は目の覚めるようなド派手なものを考えたいと思います。請うご期待！

積雪が二度もあるような寒い冬から、いっぺんに花時となってしまい、あつという間に藤もアイリスも盛りになっています。植物にとっても気持ちの良い気候の時期が短くなっているようです。

常盤台憲章の碑の下に板橋区の区花であるニリンソウが白い花を付けています。赤塚所公園などでは樹間に大群落が見られますが、それほど栽培に難しいことはないようです。必ず二輪の花が同じ所から出るので、時々三輪出ているものがあります。それはフリンソウと呼ぶことにしました。

下ばかり探さずに、時々はスダジイの幹を見上げてみてください。白やピンクの蘭の花を、これから楽しめることでしょう。二丁目のTさんの丹精です。

最近、あれほど死と直結したような感のあった癌も、初期に見つければ殆ど治るそうです。バラに付く害虫も、出始めに捕まえては退治しているといつの間にかいなくなるのです。クロケシツブチョッキリは特に初期捜査が肝心です。アブラムシもびっしり繁殖してしまわぬうちに軍手の指でつぶすのが一番のようです。